



千歳を拠点に全道へ荷物を届ける 緊急案件にも対応する運送のプロ



合同会社 R&C

〒066-0022

北海道千歳市豊里 5-7-5

URL <https://randc101222.com/>

Company data

代表

土屋 渉

自衛隊員を経て、ゴルフ場のキャディマスターに転身。ヘルニアを患ったことをきっかけに、リハビリも兼ねて運送業界へ。前職の社長からの後押しを受けて独立し、着実にドライバー数を増やす。(同) R&C を立ち上げ、軽貨物運送を中心に臨時的配送にも対応している。

Personal data



矢部 まずは、土屋代表が運送業界に入られた経緯から教えてください。

土屋 もともととはゴルフ場でキャディマスターをしていたんですが、ヘルニアを患ってしまい、リハビリを兼ねて始めたのが運送業なんです。35歳の頃で、最初は独立も法人化もまったく考えていませんでした。

矢部 そこから法人を立ち上げられるまでになったのですね。

土屋 ええ。前職の社長からの後押しもあって独立したところ、仲間がどんどん増えていき、2020年に(同) R&Cを設立するに至りました。今は業務委託の形で21名のドライバーが在籍しています。全員がそれぞれのペースで働ける環境を整えていて、若い人からベテランまで、ライフスタイルに合わせた働き方で活躍してくれているんですよ。

矢部 チームとして統制を取りながら、個人の自由も尊重されていると。配送エリアは、千歳市が中心ですか？

土屋 基本は道内全域です。千歳を拠点に札幌、小樽、帯広、恵庭などにも対応しています。佐川急便やヤマト運輸の仕事も請け負っていて、通常配送の他に、手違いで届かなかった荷物を緊急で届ける“臨時便”も行っています。例えば歯医者さんに入れ歯を届けたり、ホテルや

旅館に食材を急いで届けたり。そういう臨機応変な対応こそ、運送の醍醐味だと思っています。

矢部 いわば“最後の砦”のような役割も担っているわけですね。

土屋 そうかもしれません。最近是人手不足から多くの人がこの業界に参入し、「誰でもできる仕事」だと思われがちですが、実際には果たすべき責任が大きい重要な仕事です。だからこそ私はスタッフに「自分の常識は通用しないと思うように」とよく話しています。お客様はさまざまな考えを持っていますから、常に丁寧で柔軟な対応が求められるんです。

矢部 玄関先でお客さんと接する機会が多い仕事だからこそ、そうしたプロ意識の高さは信頼につながりそうです。

土屋 ありがとうございます。また、必

然的に長時間運転することになるので、運転好きな人、外に出るのが苦にならない人を歓迎しています。毎日違う場所に行けるし、仕事を終えればご当地の温泉に寄ったり、風景を楽しんだりできる——そういう意味では飽きない職業だと思います。飽き性な私もこの仕事だけは長続きしましたからね(笑)。

矢部 お話をうかがっていて、土屋代表が仕事を楽しまれている様子が伝わってきます。今後についてはいかがですか？

土屋 運送業は世の中になくてはならない仕事ですから、引き続き注力していくつもりですし、今後はトラックを導入して一般貨物の運送にも挑戦したいと考えています。そうして仕事の幅を広げながら、全道の物流を支える存在になれるよう成長し続けていきます。

Guest Comment

矢部 美穂 (タレント)

自由な雰囲気を持ちながらも、経営者としてしっかり未来を見据えている土屋代表。「周囲を巻き込む力」を持っている方だと感じました。「失敗もたくさんある」とお話しされていましたが、それが次のステップへ進む糧にもなっているのですね。今後も北海道の物流を支える企業として成長してください！

